

参加申込書

FAXでのお申込み ☎ 0948-26-3802

参加会場 <small>※該当箇所にお付け下さい。</small>	10/22(月) 福岡会場	10/26(金) 大阪会場	11/6(火) 東京会場
所属・団体名			
氏名			
職業	教員 ・ 職員 ・ 学生 ・ その他 ()		
ご連絡先	電話	FAX	
	メールアドレス		
情報を得たいポイントをご記入ください。 <small>※セミナーにできるかぎり反映します</small>			

※「参加受付のご連絡」をメールにてお送りしますので、ご記入をお願いいたします。

<複数名お申込の場合は、お手数ですが本申込書をコピーしてご利用下さい。>

電話でお申込みの場合 ☎ 0948-26-3800 Eメールでお申込みの場合 ✉ ediea@haw.co.jp

一会場のご案内

2018/10/22 (月) 福岡会場
TKPガーデンシティ博多新幹線口 3-B
福岡県福岡市博多区博多駅中央街5-14
福さ屋本社ビル 3F 092-432-7250

2018/10/26 (金) 大阪会場
阪急グランドビル26階貸会議室 7号室
大阪市北区角田町8番47号
阪急グランドビル26階 06-6315-8368

2018/11/6 (火) 東京会場
TKP品川カンファレンスセンター
カンファレンスルーム 5D
東京都港区高輪3-26-33 京急第10ビル5階
03-5793-3571

「質保証」を実現する学修支援システムに関する情報はこちらから

<http://www.ediea.net/>



〒828-0066 福岡県飯塚市幸袋 560-8 I.B Court 2F
<http://www.haw.co.jp/> TEL: 0948-26-3800

参加無料

— 今やっていることを活かせる —

「教育の質保証」実践セミナー

認証評価
第3クール
に向けて

～いま求められるカリキュラム・マネジメントの確立に向けて～

- セッション1 戦略的に「教育の質保証」に取り組むとは？
- セッション2 カリキュラム・マネジメント・サイクル確立に向けた実践事例
- セッション3 カリキュラム評価の在り方とその改善手法

学生自身の現状を見える化し、自ら振り返ることで、主体的な学びへの意欲が喚起される。本セミナーが、貴校においてそんな仕組みを作っていくためのヒントになれば幸いです。

【主催】株式会社ハウインターナショナル【共催】株式会社学びと成長しくみデザイン研究所

よいアセスメントポリシーとはどのようなものか最新の取り組み事例もご紹介します。

本年度から認証評価の第3クールが始まり、その準備に心を砕いているというお話を伺うことが増えてきました。

第3クールにおいては、第2クールで求められた内部質保証システムの構築の適切性から、内部質保証システムの有効性の検証へと舵が切れ、また合わせて、学修成果を適切に視野に入れた評価システムの実現が求められるようになりました。これを受け、カリキュラム・マネジメント・システム確立に向けた準備を進めているというお話を伺う一方で、一部の教員には「認証評価」や「内部質保証」というキーワードも、まだ完全には浸透していないというお話も伺います。

学修成果測定と、その検証までは執行部の判断で進められます。しかし、カリキュラムへのフィードバック(改善)へ繋げるためには、一人一人の教員の協力が欠かせません。どう合意を形成し、教員の協力体制を確立すればよいのか。今ここが課題となっていることを、多くの高等教育関係者とお話をさせていただきながら感じています。

本セミナーでは、「学科がチームとしてカリキュラム運営している学校で共有されている考え方」や、「教員同士が話し合っってカリキュラムの改善に動き始めた事例」など、教育力強化に向けて進む最新の取り組みを、ご報告します。

このような方が対象です

- ☞ 認証評価に向けたカリキュラム・マネジメントの取り組みを、形だけに終わらせるのではなく、学科がチームとして学生を育て上げる実質的な機能を果たすものにしていきたいとお考えの方。
- ☞ きちんと学生を育てられるカリキュラムとなるよう科目間の連携性を高める必要があると考えているものの、どのように合意形成していくと良いか有効な進め方がうまく見いだせずにいる方。
- ☞ 学修成果の可視化など、学修成果をアセスメントする仕組みの必要性を感じているものの、何をどう可視化し、評価するのが適切か、うまく整理することができないとお感じの方。

セミナー参加により期待される変化

- ① 認証評価第3クールで求められる、「内部質保証システムの有効性の検証」の仕組みを、形骸化させることなく、有機的に機能させ、教職員が協力して、段階的に学修成果を高めていく方をイメージできるようになります。
- ② カリキュラムがより効果的なものとなるよう、適切にアセスメントし、学科がチームとして動き始める仕組みを、どのように作っていくと良いか、イメージできるようになります。
- ③ 各部署がバラバラに動くのではなく、有機的連携を図ることで、教育力が高まり、結果として、選ばれる大学になっていく理由を、分かり易く説明できるようになります。

【福岡会場】10月22日(月) TKPガーデンシティ博多新幹線口 3-B

【大阪会場】10月26日(金) 阪急グランドビル26階貸会議室 7号室

【東京会場】11月6日(火) TKP品川カンファレンスセンター カンファレンスルーム5D

開催時間(全会場共通) 開場12:30～ セミナー13:00～17:45 (セッションごとに15分程度休憩あり)

定員
20名
各会場